

まい
(6枚のうち1)

れいわ ねん ど ひろしまけんりつとくべつし えんがっこうこうとうぶ ふつうか いちじ ぼしゅう
令和3年度広島県立特別支援学校高等部普通科(一次募集)

す う が く
数学

じゅけんばんごう 受検番号		し めい 氏 名	
------------------	--	-------------	--

採点責任者 _____

合計

_____/100

1 ^{した え} ^{ほん}
下の絵のように2本のテープをならべました。どちらのテ
^{みじか} ^{みじか} ^か
ープが短いですか。短いテープの()に○を書きなさい。



2 ^{つぎ} 次の(1)と(2)に^{こた}答えなさい。

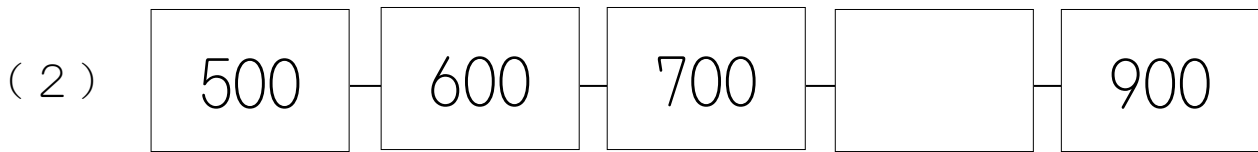
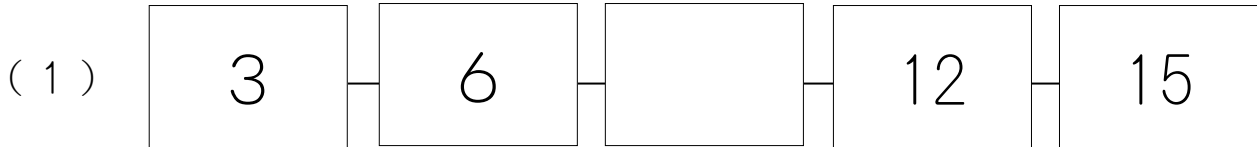
(1) と はどちらが^{おお}大きいですか。下の表の^{した ひょう おお かず}大きい数
^{ほう} ^{かこ}
の方を○で^{かこ}囲みなさい。

5	8
---	---

(2) と はどちらが^{おお}大きいですか。下の表の^{した ひょう おお かず}大きい数
^{ほう} ^{かこ}
の方を○で^{かこ}囲みなさい。

34	43
----	----

3 つぎ 次の(1)と(2)に数字がきそく^{すうじ}的^{てき}にならんでいます。(1)と(2)の□にあてはまる数字^{すうじ}を書きなさい。



4 つぎ 次の(1)から(4)に答え^{こた}なさい。□に計算^{けいさん}の答え^{こた}を書きなさい。

(1) $4 + 3 =$

--

(2) $7 - 2 =$

--

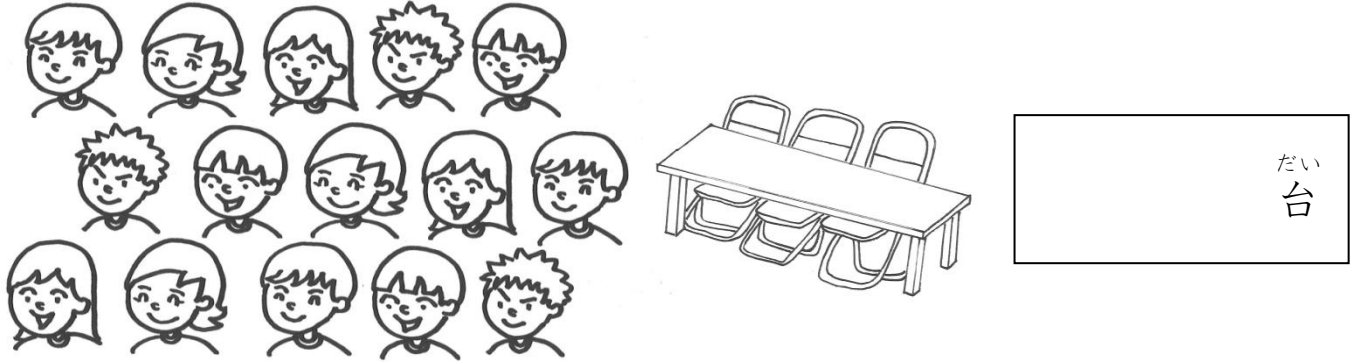
(3) $5 \times 4 =$

--

(4) $10 \div 5 =$

--

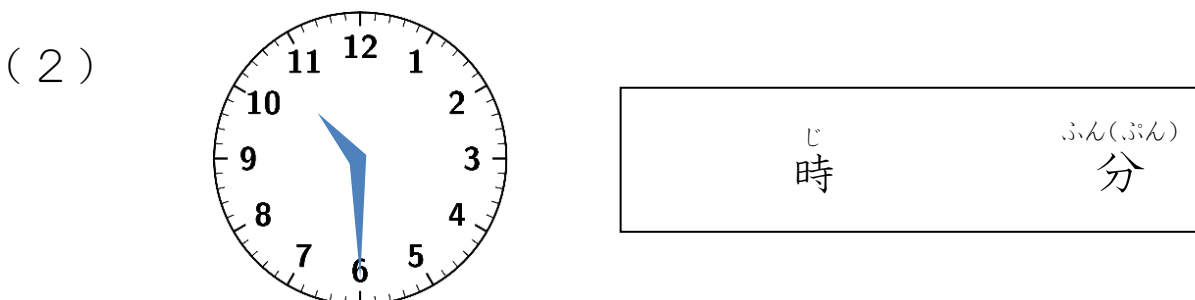
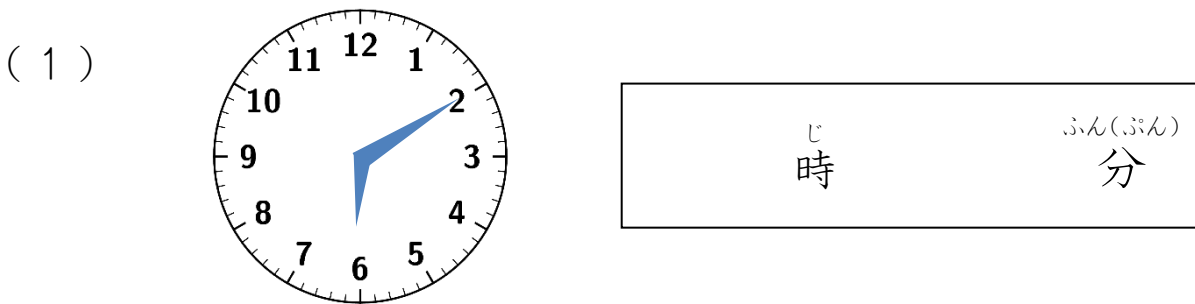
5 下の絵のように生徒が15人います。1つの長づくえに3人す
 わる場合、長づくえは何台必要ですか。□に書きなさい。



6 次のお金は全部でいくらになりますか。□に書きなさい。



7 次の(1)と(2)の時計が表す時刻をそれぞれ□に書き
 なさい。

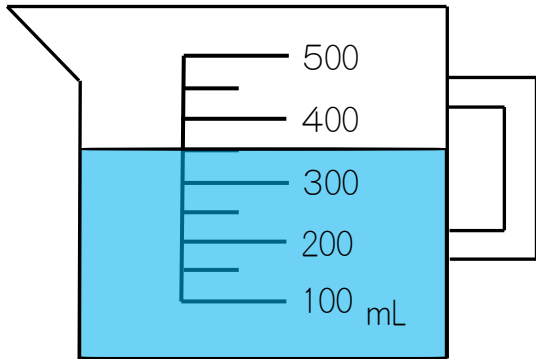


8 つぎ 次の (1) と (2) の問いに答えなさい。

(1) 2500 g は何kg何 g になりますか。 に書きなさい。

2500 g = kg g

(2) 下の絵のように計量カップに水が入っています。水は何mL入っていますか。 に書きなさい。



mL

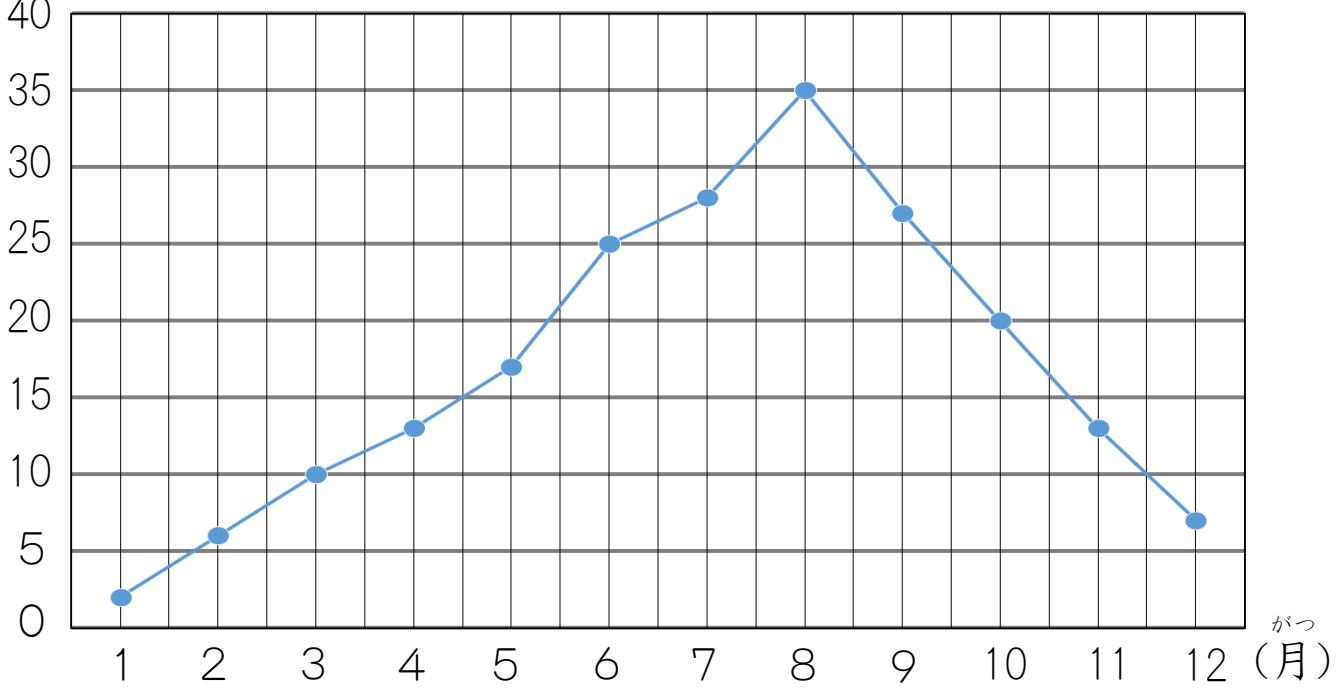
9 つぎ やまだ はか つきべつ きおん へんか
次のグラフは、山田さんが測った月別の気温の変化です。グ

ラフを見て、あとの問いに答えなさい。

ど
(度)

つきべつ きおん
月別の気温

気温
きおん



(1) 3月の気温は何度ですか。 に書きなさい。

度

(2) 気温が一番低いのは何月ですか。 に書きなさい。

月

(3) 8月と10月の気温の差は、何度ですか。 に書きなさい。

度

令和3年度広島県立特別支援学校高等部普通科入学者選抜に係る
知的障害のみの入学志願者の数学出題意図

1 出題の構成

知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校高等部においては、生徒が、個々の障害の実態や学習上の特性に応じ、また地域の実態等に即して、自立し社会参加するために必要な知識や技能、態度等を身に付けることを指導している。また、社会生活を円滑に営むために、日常生活場面に必要な数唱や計算、量の計算やお金の計算等を指導している。

こうした普通科の指導内容を踏まえ、特別支援学校中学部学習指導要領に示されている数学科の基礎的・基本的な力や、その力を活用できる力等を幅広く問う問題で構成した。

2 各問題のねらい

- ① 図の長短を比較して、短い方を選択できるかを問うものである。
- ② 数を比較して、数の大小比較ができるかを問うものである。
 - (1) 1位数を比較して、大きい数を選択することができる。
 - (2) 2位数を比較して、大きい数を選択することができる。
- ③ 数の順序の規則性に気付き、正しく表現することができるかを問うものである。
 - (1) 15までの数の順序の規則性を答えることができる。
 - (2) 大きい数の順序の規則性を答えることができる。
- ④ 初歩的な計算をすることができるかを問うものである。
 - (1) 1位数の加法を計算することができる。
 - (2) 1位数の減法を計算することができる。
 - (3) 乗法を計算することができる。
 - (4) 除法を計算することができる。
- ⑤ 具体的な場面での数量の関係に着目し、除法又はまとまりを作って数える方法を用いて、答えを求めることができるかを問うものである。
- ⑥ 日常生活に必要な金銭について、示された複数の硬貨の合計額を求めることができるかを問うものである。
- ⑦ 日常生活に必要な正確な時刻を読み取ることができるかを問うものである。
- ⑧ 重さ・量を表す単位の意味を理解し、示された単位で正しく表すことができるかを問うものである。
 - (1) g を kg と g に変換することができる。
 - (2) 水のかさを、 mL で正しく表現することができる。
- ⑨ 折れ線グラフを正しく読み取ることができるかを問うものである。
 - (1), (2) 折れ線グラフから指定されたことについて読み取ることができる。
 - (3) 折れ線グラフから指定された2つの数量間の差を求めることができる。

令和3年度広島県立特別支援学校高等部普通科入学者選抜
(一次募集)に係る知的障害のみの入学志願者の数学採点基準

【注意】誤字は1字につき減点1点とするが、小問の配点以上に減点しない。なお、正答〔例〕又は採点上の注意に例示のない解答については、以下の採点基準を参考に、各校で基準を設けて採点すること。

問題番号	正答〔例〕	採点上の注意	配点	
1	下の()に○	・図に○をしていても正答とする。	5	5
2	(1) 8		各 5 × 2	10
	(2) 43			
3	(1) 9		各 6 × 2	12
	(2) 800			
4	(1) 7		各 5 × 4	20
	(2) 5			
	(3) 20			
	(4) 2			
5	5 (台)		6	6
6	126 (円)		5	5
7	(1) 6 (時)10 (分)		各 6 × 2	12
	(2) 10 (時)30 (分)			
8	(1) 2 (kg)500 (g)		各 6 × 2	12
	(2) 350 (mL)			
9	(1) 10 (度)		各 6 × 3	18
	(2) 1 (月)			
	(3) 15 (度)			
			合計100点	